

教員名と連絡先	研究分野	指導予定課題	上限数	特記事項
※石田 東生 ・教員室：3F1033 ・電話：5073 ・E-mail: ishida	・都市交通計画 ・都市基盤整備計画 ・交通環境計画	交通に関する課題であればOKだが、ITS、シーニックバイウェイ・PI・着地型観光マネジメントなどの参画型の交通政策・地域活性化、地球環境問題に関する課題はさらに歓迎。	2	・まじめに一生懸命取り組む人。 ・「交通政策論」「交通計画」の履修者が望ましい。
糸井川 栄一 ・教員室：総B0702 ・電話：5107 ・E-mail: itoigawa	・都市リスク管理 ・地区安全計画	・都市防災に関する数理化 ・都市・地区の災害脆弱性評価 ・都市・地区の防災対策とその評価 ・安全・安心まちづくり（防犯等も含む） ・地域の防災対応能力向上策	3	・都市防災計画、学際科目「暮らしのリスクと安全・安心な社会形成」の授業履修者が望ましい ・都市防災や地域安全に熱意を持って主体的に取り組む人 ・指示待ち人間でなく一所懸命取り組む人 ・メールでアポイントを取って、都市防災研究室で行う面接に面接者全員で来ること ・その際、志望動機と研究したいテーマに関するメモ(A4版1ページ程度)を持参すること
大澤 義明 ・教員室：3F1128 ・電話：5224 ・E-mail: osawa	・都市計画 ・地域科学	都市計画・地域科学に関連すれば何でもOK	3	・『都市計画マスタープラン策定実習』、『都市計画事例講義および実習』の履修者に限定 ・研究に対し志が高い学生 ・前向きな思考の出来る学生 ・集団活動をいとわない学生
大村 謙二郎 ・教員室：3F1009 ・電話：5552 ・E-mail: omura	・土地利用計画 ・市街地整備 ・計画制度（海外も含む） ・都市住宅政策 ・都市計画史	・市街地整備に関わる計画課題 ・都市住宅政策 ・都市計画の歴史についての研究 ・その他都市基本計画に関わる事項	3	・メールでアポを取ってください
小場瀬 令二 ・教員室：3F1207 ・電話：5551 ・E-mail: obase	・都市・建築デザイン ・町づくり ・地区交通 ・住宅地・住居論	・設計（コンベンなど） ・公営住宅の設計、環境共生住宅の設計 ・つくば市、土浦市、稲敷市、古河市、筑西市、熊野古道等の町・住宅づくり ・生活道路、ロードサイドショップに関する研究 ・住宅地の宅地整理化、超郊外住宅地 ・フィンランドの都市計画、町づくり	3	・設計の好きな人 ・町づくりが好きな人 ・本教員はH24年3月に退任の予定である
鈴木 勉 ・教員室：総B0704 ・電話：5186 ・E-mail: tsutomu@risk.tsukuba.ac.jp	・都市解析 ・立地モデル ・都市空間構造 ・都市リスク分析 ・空間的意思決定/GIS	左記研究分野に関わる研究課題（下記Webも参照のこと） <a href="http://www.risk.tsukuba.ac.jp/~ussrl/public_html/index.htm">http://www.risk.tsukuba.ac.jp/~ussrl/public_html/index.htm</a>	3	詳しくは、研究室説明会で説明します。 ・自主的に学ぶ意欲と熱意のある学生に限定します
谷口 守 ・教員室：3F1134 ・電話：5171 ・E-mail: mamoru	・サステイナビリティ(環境計画) ・都市(空間)構造計画 ・土地利用・空間利用計画 ・まちづくり全般 ・公共交通計画	・コンパクトシティ・マネジメント、「撤退」の都市計画 ・地域の環境バランス、エコロジカル・フットプリント ・実空間とサイバースペースのコンフリクト解消 ・ソーシャル・キャピタル育成、交通まちづくり ほか先進的でオリジナリティあるテーマを扱います。 下記webにも近年のテーマを掲載しています。 <a href="http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~tj330/Labo/taniguchi/">http://infoshako.sk.tsukuba.ac.jp/~tj330/Labo/taniguchi/</a>	3	・都市計画の専門家として生きていくことを決めた人（今決めてもらってもOK） ・配属先候補として考える学生は、まずメールで研究室説明を受けるアポをとること。
藤川 昌樹 ・教員室：3F1210 ・電話：6207 ・E-mail: fujikawa	・都市史/建築史 ・保全型都市計画	・日本及び諸外国の近世・近代都市史 ・伝統的都市・建築の保全・再生に関わる研究 ・歴史を活かしたまちづくりに関する研究	3	・当研究室ではテーマの決定から論文の取りまとめまでの多くが学生自身の自主性に委ねられますので、自分を律することのできる人を希望します。 ・当研究室に関心のある人を集めて一度説明会を開催しますので、まずこの説明会に参加してください。その上で藤川の指導を希望する学生はアポイントを取り、A4一枚の研究計画書を持参して、期日内に藤川と面接してください。
吉田 あつし ・教員室：3F1113 ・電話：5095 ・E-mail: ayoshida	・都市経済学 ・医療経済学 ・計量経済学 ・教育の経済学	・地域保険医療制度、介護制度に関する実証研究 ・老人医療制度に関する実証分析 ・学校選択制などの教育に関すること ・その他都市経済学に関するテーマ	3	・メールでアポイントメントをとって下さい。 ・できれば統計学の基本は押さえておいてください。
吉野 邦彦 ・教員室：3F1111 ・電話：5005 ・E-mail: sky	・環境資源管理と計画 ・景観情報工学/景観生態工学 ・解析写真測量 ・RSの原理と応用 ・環境シミュレーション	「地域環境のモニタリング、評価と管理」 ・地域の開発と生態系保全との調和に関する研究 ・地域の資源循環に関わる研究（特に水環境問題について） ・地域資源の価値評価に関する研究 ・その他：指導可能なテーマ（環境RS/GISを用いる研究課題）	3	・グループ面接で研究室紹介をした後、個人面接により卒業研究テーマ・研究指導法等についてディスカッションを行なう ・特に「環境」に関係するテーマについて勉強・研究したい者 ・読書して考える好奇心と知識欲が旺盛で、勉強する人、かつ社交的な人を歓迎します
太田 充 ・教員室：3F1217 ・電話：6453 ・E-mail: ota	・都市経済学 ・地域科学 ・都市計画	・情報通信技術が都市の空間構造に与える影響について ・都市の利便性についての経済分析 ・都市における経済活動の地価に与える影響について ・その他都市・地域の分析に関するテーマ	3	・メールでアポを取って、必ず1人ずつ面接を受けること。 (希望論文テーマと志望理由についてのレポートをA4で1枚持参のこと)
岡本 直久 ・教員室：3F1028 ・電話：5093 ・E-mail: okamoto	・交通計画 ・交通工学 ・交通行動分析 ・観光交通計画 ・観光地計画 ・物流計画	・交通運輸政策の評価および新たな政策提案（道路、航空、海運・港湾などを対象） ・魅力ある観光地づくり ・ITS(Intelligent Transportation System/Service)と交通行動	2	・都市交通研究室で行う面接に参加すること ・交通計画、都市計画マスタープラン策定実習の単位を取得していること
堤 盛人 ・教員室：3F1034 ・電話：5007 ・E-mail: tsutsumi	・不動産評価・住宅地の景観 ・空間データ解析 ・空間統計学・空間計量経済学 ・社会資本整備の影響分析 ・都市と地域の経済分析 ・Project Finance ・都市計画関連産業と資格制度	・不動産の価格・賃料・空室率分析・投資インデックス、無電化促進 ・人口・所得・交通データ・犯罪率等の空間データ解析、GISの応用 ・空間的自己相関・フローの相関、空間過程モデル、空間計量経済学分析 ・地域間格差の分析、社会資本と経済効率性・成長 ・応用都市経済モデル、土地利用/立地分析、建物更新・減失、商業立地 ・大学施設整備のPF・不動産のファイナンス ・建設業・建設関連業・不動産情報産業、関連資格制度	3	・まじめに研究に取り組む意思があり、自己責任で行動できる大人 ・研究室(F516)をきれいに使える人 ・「都市計画マスタープラン策定実習」を履修することが望ましい ・面接については、事前にメールで連絡すること
村尾 修 ・教員室：総B0703 ・電話：5370 ・E-mail: muraio@risk.tsukuba.ac.jp	・都市防災計画 ・都市復興計画 ・建物の耐震化 ・都市の脆弱性評価 ・都市復興のデザイン ・都市/建築空間論(設計)	・海外の都市における都市防災と復興計画（ペルー、バングラデシュ、インドネシア、スリランカ、台湾、中国等） ・空間情報データ（GIS、衛星画像等）を用いた都市評価手法 ・21世紀における沿岸都市とオープンスペースの計画 ・災害に対応した建築と都市空間 ・その他、建築・都市空間論および設計	3	・行動力があり、社交的で、研究に熱意を持って取り組める学生 ・ほとんど毎日研究室に来る意欲のある学生 ・村尾担当の講義・実習を受講していること ・面接時に1,000字程度のレポート（志望動機と研究テーマ）を持参すること ・さらに卒業設計希望者は設計作品を持参すること (詳細：www.muraio.net)
渡辺 俊 ・教員室：3F1211 ・電話：6452 ・E-mail: shun	・都市施設計画 ・都市・建築デザイン ・シミュレーション ・CAD/GIS/CG ・設計方法論	・都市・建築のフィジカルプランニングに関わる分野 ・施設計画のための情報処理技術に関わる分野 ・新しいデザイン方法論とその実践	3	・渡辺担当の講義・実習を受講していること。 ・面接は個人面接とし、志望理由のレポートおよびまちづくり実習作品他を持参すること。 ・まちづくり実習の成果が不出来な者の卒業設計は容認しない。
梅本 通孝 ・教員室：総B0802 ・電話：7883 ・E-mail: umemoto@risk.tsukuba.ac.jp	・都市地域防災・減災対策 ・都市リスク管理 ・災害時情報伝達 ・避難	・ソフト防災・減災対策 ・都市における低頻度大規模事象の影響評価 ・地域住民を対象とする原子力災害対策 ・国民保護対策	3	・都市防災や地域安全に熱意を持つ人 ・基本的に平日は毎日研究室に来ることが出来る人 ・都市防災研究室で行う面接に志望者全員で来ること ・その際、志望動機と研究したいテーマに関するメモ(A4版1ページ程度)を持参すること
谷口 綾子 ・教員室：総B701-2 ・電話：5754 ・E-mail: taniguchi@risk.tsukuba.ac.jp	・都市交通計画 ・態度・行動変容研究 ・リスク・コミュニケーション	・観光地を巡る人々の地域愛着に関する研究 ・子育てバリアフリー：欧州諸国との政策比較 ・バス専用道のバス利用促進モビリティ・マネジメント ・シェアード・スペース ・自然災害の防災リスクコミュニケーションと態度行動変容 ・学内カーシェアリング	3	・社会的ジレンマに興味のある人 ・計画をたててきちんと研究を進めたい人 ・約束を守る人 ・事前にアポイントをとり、面接要 ・「交通計画」の単位を取得していること ・来年度から「都市交通研究室」ではなく、独立して「公共心理研究室」として学生を募集します。
藤井 さやか ・教員室：3F1012 ・電話：5008 ・E-mail: fujii	・都市計画 ・建築規制・まちづくり法制 ・地区まちづくり ・住環境整備 ・ソーシャル・ビジネス	・用途地域、地域地区、地区計画などの各種制度の活用効果と課題 ・まちづくり条例などを活用した地域独自のルール・仕組みづくり ・地域住民等の発意を活かした地区レベルのまちづくり ・既存住宅地や郊外住宅地の住環境上の問題と再整備の方向性 ・地域資源を活用したまちづくりビジネス	3	・メールでアポをとって面接してください ・土地利用研究室で行う面接にも参加してください ・土地利用研究室の活動に積極的に参加できる人 ・都市やまち、人に興味があり、熱意をもって研究に取り組める人

教員名と連絡先	研究分野	指導予定課題	上限数	特記事項
村上 暁信 ・教員室：3F1109 ・電話：5168 ・E-mail: murakami	・緑地環境計画 ・都市農村計画 ・リモートセンシング観測	・緑の環境保全機能の解明と都市整備への応用 ・都市と農村、都市と農地の計画的整備に関する研究 ・リモートセンシングを活用した都市の環境評価 ・アジア大都市における都市化と環境問題に関する研究 ・都市農村計画史、緑地計画史に関する研究	3	・何にでも積極的にチャレンジし、主体的に研究を進めたいという人を希望します ・希望者全員を対象とした説明会を開催しますので、参加してください ・その後メールでアポイントを取って面接に来てください ・面接の際には希望する研究テーマをA4一枚程度にまとめたものを持参してください
※松原 康介 ・教員室：3F1025 ・電話：5086 ・E-mail: matsub	・保全型都市計画 ・都市計画史 ・国際協力・交流に基づく都市づくり	・歴史都市の保全に関する計画論、計画史の研究 ・国際協力・交流に基づく都市計画プロジェクトについての研究 ・都市における多文化共生のあり方についての研究 ・中東・北アフリカ地域の都市研究	3	・メールでアポイントをとって、面接に来てください ・国際総合学類の学生（1学年3～6名程度）と共同で研究を行います。 ・フィールドワークに熱心に取り組める人 ・歴史的空間の雰囲気が好きな人 ・外国の都市に興味があることが望ましい
※※岩田 司 ・(独)建築研究所 住宅・都市研究グループ ・電話：864-6672 ・E-mail: iwata@kenken.go.jp	・地域住宅計画 ・地域運営(エリアマネジメント) ・既存住宅活用計画	・地域木造住宅振興に関する研究 ・※※岩田地区における住まいづくりに関する研究(住居政策や民間賃貸住宅政策等) ・二地域居住に関する研究 ・住民自自行う地域運営手法に関する研究 ・既存住宅の流通促進手法に関する研究 ・公営住宅の再編計画に関する研究	1	・メールでアポを取り、面接に来てください ・主に建築研究所で指導を行います ・将来的に研究を継続する意志のある人を求めます ・「住まいと居住環境の計画」を履修していること ・連携大学院教員の趣旨に合致する研究テーマの指導となりますので、面接の結果、受け入れをお断りすることがあります ・今後の調整がありますので、留意して下さい
※※長谷川 洋 ・国土技術政策総合研究所 住宅研究部 ・電話：862-4236 ・E-mail: hasegawa-h92iw@nilim.go.jp	・住宅政策・住宅問題 ・地域居住政策 ・マンション再生・団地再生 ・住宅及び住宅地のマネジメント	・住宅政策・居住政策に関する研究（住宅市場分析、公営住宅政策や民間賃貸住宅政策等の住宅セーフティネット政策、高齢者の居住問題等） ・地方公共団体の住宅政策に関する研究 ・住宅政策の政策評価に関する研究 ・マンション及び団地の再生手法に関する研究 ・戸建て住宅地のマネジメントに関する研究	1	・メールでアポを取り、面接に来てください ・主に国土技術政策総合研究所で指導を行います ・住宅問題や住宅政策などに興味を持ち、熱意を持って主体的に研究に取り組む人 ・連携大学院教員の趣旨に合致する研究テーマの指導となりますので、面接の結果、受け入れをお断りすることがあります
<p>註) ※印を付した教員（石田、松原）は国際総合学類担当であるが、卒業研究指導は上限枠内の指導を行う。奥島真一郎は受け入れなしとする。</p> <p>※※印を付した教員（岩田、長谷川）は連携大学院教員である。当該教員が所属する研究所の目的に合致した研究テーマの指導に限られる。</p> <p>樋野公宏（建研）及び上坂克己（国総研）は受け入れなしとする。</p> <p>有田智一、斎尾直子は、2011年度の卒業論文生を受け入れなしとする。</p>				